

住みよ
い村を私たちの手で

衛生モニターデル6町村を指定

母子ともに健やかな養育料、ヘリコプターによる巡回、最近町と村の人々が、同じ町や村をへらうとい、町村当局や保健所の協力を得て、組織的な活動をはじめ、新しい話題を提供してますが、これに応えて県では、新たに養育料を九ヶ所に設け、町村を二十七ヶ所指定して、自主的活動を援助することになりました。

アーヴィングの筆に現れるが粗ひどい筆である。

年と今年の子供の日をこれ
れ表記を避けたのです。まだ記
年一年間に娘兒の死が一人も
なかつたといふ古座町(東平野
郡)のような立派な町あります。

モテル町村 母子養育村・山田▼上喜出▼
出池川▼早蘇▼岩代▼生馬▼
高池▼宇久井
牧と鰐のいない村▼笠田▼橋
本▼池田▼東貢志▼田中▼狩
宿▼加茂▼塙淳▼下津▼西脇
▼糸我▼田畠川▼広▼高麗城
▼由良▼志爾▼白崎▼上南部
▼若田▼上芳養▼鮎川▼白浜
▼高池▼江住▼大島▼太郎▼
宇久井

六月三日には参議院（地方選出）議員の補欠選舉が行われます。「主權は國民にあり」と憲法でうたわれていますが、私たち



活動する地区衛生組織

中上

愛
美

子供はかわい
うめのです。何
あ知らずに、す
れどやと眠つて
いる子供たちの
あきけない寝顔
みて「どうか
子供たちが丈夫
で、しゃわせな
一生を过ごし
くわがよろこびに
」と、心から祈
で、一生を夫に育ててあげたい
子供を丈夫に育ててあげたい
も、丈夫を赤ちゃんを生むとい
あ、やよいとした妊娠でひどい
ことであり、母親の健康も平素
の心がけかといづか。しかし
母親一人がこんな頑張りでも男

子供を育て、母親をいたわつてはじめて明るい家庭、住みやすいうちや村がついでらるのです。それから保健婦やお医者さんの指導を受けながら、みんなが自分たちの知識と体験を交換しあつて実行できるというのであれば、心強いことじきはありませんか。

An illustration depicting a scene from a Japanese story. A woman in a traditional kimono is shown from the waist down, holding a small child. She is wearing a patterned skirt and a dark obi. The child is also in a kimono. In the background, the legs and feet of other figures are visible, suggesting a crowded or public setting.

選挙した私たちの代表者がいる
国会議員を通して行われること
のじゆ。

あなたの一票が
國の政治を左右する

らび方や投票上の注意事項などを
について述べてみまじめ。正しく、一票を投げ明るい日本に
するには候補者の選択があつても大切です。
ほんとうに国民の代表者として
安心して、国政を委せる人、國民の意志を率直に、眞剣に政治
上に反映される人を選びましょう。そのためには、ラジオには
も政見、経験の放送をよくきき、また各家庭に配付される候補者
もし選挙権があり、市町村名簿に登録されてい
かかわらず入場券が付与



議院地方區補欠選舉

選舉日

投票するときの注意
投票用紙には候補者一人をぼつまこと書くことがあります。候補者の氏名を二人いた投票や候補者の氏名に余分なことを書いた他の投票用紙以外の用紙を投票用紙で投票するときも、そのことが申して投票用紙の交付を受けができます。

選舉の當日投票所でない選舉入の便宜のために選舉制度が設けられてゐるが、投票當日他の務に從事中または止むを得ない場合は、選舉権は私たち國民に与する最も大切な権利である。民主政治の根柢となるから、選舉権をして自らの

投票できな い不在者投 票の都市で業 務を停めな い	代理投票 の困難な方 の困り難い 投票所によ る回収のべ た代理投票が できます。
が政治に参 与であり、 こののじよ の権利を放 つてはいな いといふの うのと、私 たち選挙人 が良心に従 つて清く正 しい一票を投 げ、明るい民 主国を建設 するための 建設に努めま しむ。	文言、身体の故障など文字を書 く以上の困難な方は投票所によ る回収のべた代理投票ができま す。

が、いろいろの事情から投票権始時間を一時間乃至三時間おくらしてどの町村、開鑑時間を一時間乃至三時間くらあけて、どの町村がありますから選挙人の皆様は自分の町村の投票時間に注目されて仕事等で在外の方は、前もって手書きをとることになり、投票日の前日までに居住地または旅行先の市町村選管委員会で、病、負傷、妊娠、不具等へはお産のため病院（県選管委員会）

貯水量26萬トンの人造湖

古座川防災、よいよ本工事

県営ダム第一号の東牟婁郡七川村佐田区にいたる防災地をひき、古座川ダム起工式は二十二日前十時より堤壩建設を行されました。この

式が始められ、ひきいわく小野日、建設大臣、經濟審議官、議長、古座川ダム事務所長、世耕代議士、坂、森岡、岩畠、小野知事は授業の中で、古座川流域の第一歩を踏み、古

県に亘りの工事完成後には

座川流域の発展はあらん全

長、水没家族その他約一萬人

が臨席し、定礎石を埋め込み

ひき、本工事進行に貢献した

議長が祝辞をおくり、ひきい

る。しがれども、まだ、

のほ、このダムによる人達の

命と财产の安全の大なる

犠牲があつたのです。この

犠牲者の方々を忘れては

なりません。今後は、

ます、本県発展のため、そ

ねばならぬと感謝の心

は、ついで熊本未だ

た古座川下流五ヶ町村を災害か

ら譲ることなく、高堤壩を利用

して発電施設を作るので、昭

和十六年から二十年年にわたる

水を導き、水発電機三基で最

大出力六、四〇〇キロワット(常

時)、〇〇〇キロワット(総電

流)、工事の完成は昭和三十一年三月末の予定で、総工費

は子(横田)、これが使うコンク

リートは一〇万立方㍍及び、

堤壩上流の左岸に取水口を開け

直徑二・五㍍、延長二四六㍍

の圧力ポンプで毎時二四六㌧

の圧力をもたらす。

このダムは、毎年のよう

に、関係四社に対し小野知事の

感謝状がおこなわれ、盛大のう

ちに舞をはじめました。

この

